

上場会社名 大丸エナウイン株式会社

(コード番号 9818 東証・大証第二部)

(URL http://www.gas-daimaru.co.jp)

問合せ先 代表者役職 取締役社長

氏名 伊藤 吉朝

責任者役職 専務取締役 管理本部長

氏名 竹川 卯三郎

(TEL:06-6685-5106)

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
 影響額が僅少なものにつき、一部簡便的な手続きを用いております。  
 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

2. 平成18年3月期第3四半期財務業績の概況 (平成17年4月1日～平成17年12月31日)

(1) 経営成績の進捗状況

(単位 百万円 未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期第3四半期	11,392	(9.0)	3	(-)	32	(80.7)	11	(35.1)
17年3月期第3四半期	10,447	(1.2)	135	(43.5)	170	(38.9)	17	(62.6)
(参考)17年3月期	14,742	(2.8)	384	(20.4)	431	(19.6)	161	(19.9)

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
18年3月期第3四半期	1	40		
17年3月期第3四半期	2	16		
(参考)17年3月期	17	43		

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

[ 経営成績の進捗状況に関する定性的情報等 ]

当第3四半期のわが国経済は、原油価格の高止まりなどの懸念材料はあったものの、企業の設備投資の増加や、個人消費増加などによりデフレを脱却し、景気は息の長い回復基調に入りました。

しかしながら当社を取り巻く環境は、主力商品であるLPガスの仕入価格が原油価格の高騰により大幅に上昇し、しかもLPガス販売価格への転嫁が難しい状況下におきまして、当社の売上高は前年同期間比944百万円(9.0%)増加しましたが、利益面で売上総利益が前年同期間比64百万円(1.8%)減少しました。

ぼっぼガス事業部は、新規開拓、営業権買収等に取り組み販売量増加要因がありましたので6.6%増収となりましたが、LPガス仕入価格の高騰に対し、販売価格の引上げにタイムラグが生じて売上総利益は30百万円減少しました。

エネルギー事業部は、住宅設備、産業ガス・機材はわずかながら減収となりましたが、エネルギーが16.9%の大幅増収となりましたので、エネルギー事業部全体の売上高は9.9%の増収となりました。しかしながら売上総利益は、月を追って大幅に値上がりするLPガス仕入価格を、販売店への価格転嫁に傾注したものの価格競争が厳しく転嫁が不十分であったため34百万円の減益となりました。

経費面においても営業権償却や備品消耗品費の増加が大きく、人件費についても増加しましたので、74百万円(2.1%)増加となり、営業利益は前年同期比139百万円減益の3百万円となりました。

これに営業外収益41百万円、営業外費用4百万円を加減算した経常利益は、前年同期比137百万円(80.7%)減益の32百万円となりました。また、特別利益にて投資信託を売却することで28百万円の投資有価証券売却益を計上し、特別損失にて遊休投資不動産を12百万円減損処理いたしましたので、第3四半期純利益は前年同期比6百万円(35.1%)減益の11百万円の計上に止まりました。

②) 財政状態の変動状況

(単位 百万円 未満切捨)

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第3四半期	10,639	6,813	64.0	848 22
17年3月期第3四半期	10,071	6,678	66.3	831 35
(参考)17年3月期	10,063	6,830	67.9	847 70

[ 財政状態の変動状況に関する定性的情報等 ]

当第3四半期の財政状態は前会計年度末と比較して総資産が576百万円の増加に対し、負債の部が594百万円増加し、株主資本が17百万円減少となったため、株主資本比率は3.9%減の64.0%となりました。

総資産の増加576百万円の主なものは、売掛金の増加370百万円、有価証券の増加101百万円、商品の増加97百万円、投資その他の資産の増加79百万円に対して、現金及び預金の減少73百万円および営業権償却による無形固定資産の減少78百万円であります。

負債の部の増加594百万円の主なものは、支払手形の増加228百万円、買掛金の増加517百万円、短期借入金の増加105百万円に対して、未払法人税等の減少164百万円およびその他の減少164百万円であります。

③) キャッシュ・フローの状況

(単位 百万円 未満切捨)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年3月期第3四半期	586	676	17	1,428
17年3月期第3四半期	472	597	83	1,365
(参考)17年3月期	938	754	88	1,501

[ キャッシュ・フローの状況に関する定性的情報等 ]

・営業活動によるキャッシュ・フローは、586百万円の資金の増加となりました。これは主に、売上債権の増加額381百万円、法人税の支払額185百万円等による資金減少に対し、仕入債務の増加額744百万円、営業権償却406百万円、減価償却費280百万円等の資金増加が多かったことによるものであります。

・投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出289百万円と営業権買収に伴う無形固定資産の取得による支出349百万円がありましたので、676百万円の資金が減少しました。

・財務活動によるキャッシュ・フローは、納税賞与資金として295百万円の短期借入を実行し、190百万円の返済および配当金の支払87百万円を実施しましたので、17百万円の資金の増加となりました。

上記の結果、現金及び現金同等物は前会計年度末に比べ72百万円減少し1,428百万円となりました。

3. 平成18年3月期の業績予想 (平成17年4月1日～平成18年3月31日)

(単位 百万円 未満切捨)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	15,300	280	140	14 94

[ 業績予想に関する定性的情報等 ]

平成17年11月10日付中間決算短信の業績予想発表後の連月におけるLPガス仕入価格市場最高値更新の影響を受け、今回業績予想を経常利益430百万円から280百万円に下方修正いたします。また別途開示しております「希望退職者募集結果に関するお知らせ」に伴う希望退職加算金246百万円を特別損失に計上し、特別利益に資産の売却益等をほぼ同金額計上する予定でありますので、当期純利益206百万円を140百万円に下方修正いたします。

以 上

# (要約)第3四半期貸借対照表

(単位 百万円 未満切捨)

科 目	当四半期 (平成18年3月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成17年3月期 第3四半期)	増 減		(参考) 平成17年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率 %	金 額
(資産の部)					
流 動 資 産	5,352	4,749	603	12.7	4,799
現金及び預金	1,471	1,411	60		1,544
受取手形	720	760	40		708
売掛金	2,321	1,917	403		1,951
有価証券	101	-	101		-
商品	383	343	40		286
繰延税金資産	74	72	2		81
その他	285	251	34		236
貸倒引当金	7	6	0		8
固 定 資 産	5,287	5,320	33	0.6	5,263
有形固定資産	3,317	3,222	94	2.9	3,295
建物	378	393	15		408
機械及び装置	952	987	35		1,004
土地	1,422	1,352	70		1,420
その他	565	490	75		460
無形固定資産	1,336	1,580	244	15.4	1,414
営業権	1,238	1,422	184		1,304
その他	98	158	60		109
投資その他の資産	633	518	115	22.2	554
投資その他の資産	660	535	125		580
貸倒引当金	26	17	9		26
資産の部合計	10,639	10,071	568	5.6	10,063
(負債の部)					
流 動 負 債	3,321	2,982	339	11.4	2,797
支払手形	1,081	1,061	20		853
買掛金	1,859	1,421	438		1,342
短期借入金	105	168	63		-
未払法人税等	6	28	22		170
その他	268	303	35		430
固 定 負 債	505	410	95	23.2	435
役員退職慰労引当金	251	220	30		225
長期未払金	114	115	1		114
その他	139	73	65		95
負債の部合計	3,826	3,392	434	12.8	3,232
(資本の部)					
資 本 金	870	870	-		870
資 本 剰 余 金	1,185	1,185	-		1,185
利 益 剰 余 金	4,591	4,545	46		4,689
利益準備金	161	161	-		161
任意積立金	4,256	4,209	47		4,209
四半期(当期)未処分利益	174	175	1		319
その他有価証券評価差額金	174	84	90		93
自 己 株 式	9	9	0		9
資本の部合計	6,813	6,678	135	2.0	6,830
負債及び資本の部合計	10,639	10,071	568	5.6	10,063

## (要約)第3四半期損益計算書

(単位 百万円 未満切捨)

科 目	当四半期 (平成18年3月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成17年3月期 第3四半期)	増 減		(参 考) 平成17年3月期
	金 額	金 額	金 額	増 減 率	金 額
売 上 高	11,392	10,447	944	9.0	14,742
売 上 原 価	7,841	6,832	1,009	12.9	9,603
売 上 総 利 益	3,550	3,615	64	1.8	5,138
販売費及び一般管理費	3,554	3,479	74	2.1	4,753
営 業 利 益	3	135	139	-	384
営 業 外 収 益	41	39	2	5.6	53
受取利息・配当金	( 4 )	( 5 )			( 5 )
仕入割引	( 7 )	( 6 )			( 8 )
受取賃貸料	( 13 )	( 12 )			( 17 )
その他の	( 16 )	( 15 )			( 21 )
営 業 外 費 用	4	4	0	11.8	6
支払利息	( 0 )	( 0 )			( 1 )
売上割引	( 2 )	( 2 )			( 2 )
その他の	( 1 )	( 1 )			( 2 )
経 常 利 益	32	170	137	80.7	431
特 別 利 益	30	46	16		49
特 別 損 失	20	142	121		143
税引前四半期(当期)純利益	42	74	32	43.5	337
法人税、住民税及び事業税	40	46	6		182
法人税等調整額	9	11	20		6
四半期(当期)純利益	11	17	6	35.1	161

# (要約)第3四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円 未満切捨)

	当 四 半 期 (平成18年3月期 第3四半期)	前 年 同 四 半 期 (平成17年3月期 第3四半期)	(参考) 平成17年3月期
区 分	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
1. 税引前四半期(当期)純利益	42	74	337
2. 減 価 償 却 費	280	285	385
3. 営 業 権 償 却	406	384	503
4. 投資不動産減損損失	12	-	-
5. 役員退職慰労引当金の増加額	25	14	19
6. 退職給付引当金の減少額	-	105	105
7. 長期未払金の増加額	0	115	114
8. 受取利息及び受取配当金	4	5	5
9. 支 払 利 息	0	0	1
10. 有形固定資産売却益	1	7	8
11. 投資有価証券売却益	28	-	-
12. 有形固定資産除売却損	8	13	14
13. 売上債権の増加額	381	85	67
14. たな卸資産の増加額	97	129	72
15. 仕入債務の増加額	744	309	23
16. 役員賞与の支払額	21	21	21
17. そ の 他	217	207	20
小 計	769	636	1,096
18. 利息及び配当金の受取額	4	5	5
19. 利息の支払額	0	0	1
20. 法人税等の支払額	185	167	162
営業活動によるキャッシュ・フロー	586	472	938
投資活動によるキャッシュ・フロー			
1. 定期預金の純減少額	-	-	3
2. 有価証券の純増加額	101	-	-
3. 有形固定資産の取得による支出	289	267	380
4. 有形固定資産の売却による収入	3	21	24
5. 無形固定資産の取得による支出	349	346	400
6. 投資有価証券の取得による支出	5	5	5
7. 投資有価証券の売却による収入	67	-	-
8. 貸付けによる支出	1	2	2
9. 貸付金の回収による収入	2	3	4
10. 出資金の増減額	2	-	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	676	597	754
財務活動によるキャッシュ・フロー			
1. 短期借入れによる収入	295	400	400
2. 短期借入金の返済による支出	190	232	400
3. 配当金の支払額	87	84	88
4. 自己株式の純増加額	0	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	17	83	88
現金及び現金同等物の増加額	72	40	95
現金及び現金同等物の期首残高	1,501	1,405	1,405
現金及び現金同等物の期末残高	1,428	1,365	1,501

# 第3四半期事業部別売上高

(単位 百万円 未満切捨)

事業区分	当 四 半 期 (平成18年3月期 第3四半期)		前 年 同 四 半 期 (平成17年3月期 第3四半期)		( 参 考 ) 平成17年3月期			
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比		
ぼっばガス事業部		%		%		%		
	2,805	24.6	2,633	25.2	3,887	26.4		
計	2,805	24.6	2,633	25.2	3,887	26.4		
エネルギー事業部	エネルギー・住設部	エネルギー	4,967	43.6	4,251	40.7	6,111	41.4
		住宅設備	2,482	21.8	2,501	23.9	3,355	22.8
	小計	7,450	65.4	6,752	64.6	9,466	64.2	
	アクア	100	0.9					
	医療・産業ガス部	医療ガス	239	2.1	227	2.2	308	2.1
		産業ガス・機材	795	7.0	834	8.0	1,079	7.3
	小計	1,035	9.1	1,062	10.2	1,387	9.4	
	計	8,586	75.4	7,814	74.8	10,854	73.6	
	合 計	11,392	100.0	10,447	100.0	14,742	100.0	